

【予約・手配について】

Q1: ツアーや航空券は、どのくらい前に予約するのがベストですか？ A1: 一般的に、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始などの繁忙期は非常に混み合いますので、数ヶ月前からのご予約をおすすめします。通常期であれば、航空券は2～3ヶ月前、宿泊施設は1ヶ月前程度を目安にすると選択肢が多い傾向がありますが、早期割引や直前割引などもありますので、ご希望の時期や方面によって最適なタイミングは異なります。

Q2: パッケージツアーには何が含まれていますか？ A2: 含まれる内容はツアーによって大きく異なります。一般的には、往復の交通費（航空券やJR券など）と宿泊費が含まれることが多いですが、食事が含まれるか、現地での移動手段（レンタカー、送迎バスなど）、観光入場料、添乗員の有無などはプランごとに確認が必要です。必ず旅行条件書やパンフレット、ウェブサイトの詳細をご確認ください。

Q3: 予約の変更やキャンセルはできますか？ キャンセル料はいつからかかりますか？ A3: 予約の変更やキャンセルに関する規定（キャンセルポリシー）は、ご予約された旅行商品（ツアー、航空券、ホテルなど）や、予約した会社（旅行代理店、航空会社、ホテル予約サイトなど）によって異なります。一般的に、旅行開始日に近づくほどキャンセル料が高くなる傾向があります。予約時に提示される旅行条件書や予約

確認書、ウェブサイトの規定を必ずご確認ください。変更・キャンセルの可否や手数料についても、そちらに記載されています。

Q4: 航空券やホテルの料金変動するのはなぜですか？ A4: 航空券やホテルの料金は、空席・空室状況、予約時期、需要（シーズンや曜日）、競合の価格など、様々な要因によって常に変動しています（ダイナミックプライシング）。特に航空券は、予約クラス（変更可否などの条件が異なる）によっても料金が変わります。

Q5: パスポートの残存有効期間はどのくらい必要ですか？ ビザは必要ですか？ A5: （海外旅行の場合）渡航先の国によって、必要とされるパスポートの残存有効期間（入国時、出国時、あるいは滞在期間中など基準も様々）や、ビザ（査証）の要否が異なります。必ず渡航先の駐日大使館・領事館のウェブサイトや、外務省の海外安全ホームページなどで最新の情報をご確認ください。旅行会社でツアーを申し込む場合は、担当者に確認することも可能です。

【準備について】

Q1: 海外旅行保険には加入すべきですか？ A1: 海外では日本の健康保険は適用されず、医療費が非常に高額になるケースがあります。また、病気やケガだけでなく、携行品の盗難や破損、航空機の遅延など、予期せぬトラブルに備えるためにも、海外旅

行保険へのご加入を強くおすすめします。補償内容や保険料は様々ですので、ご自身の旅行内容に合ったものをお選びください。クレジットカードに付帯している保険もありますが、補償内容や適用条件（自動付帯か利用付帯かなど）を事前に確認することが重要です。

Q2: 現金はどのくらい持っていくべきですか？ 両替はどこでするのがお得ですか？

A2: 必要な現金の額は、渡航先の物価、滞在日数、旅行スタイル（パッケージツアーか個人旅行か）、カード利用の普及度などによって大きく異なります。現地の治安も考慮し、大金を持ち歩くのは避け、クレジットカードやデビットカード、プリペイドカードなどを併用するのが一般的です。両替は、日本国内の銀行や空港、現地の空港、銀行、市中の両替所、ホテルなどで可能です。一般的に、日本国内や現地空港よりも、現地の銀行や市中のレートの良い両替所の方が有利な場合が多いですが、手数料や利便性も考慮して選びましょう。少額であれば、現地の ATM でクレジットカードを使って現地通貨を引き出すキャッシングも選択肢の一つです。

Q3: 何を持っていけばいいですか？ 荷物の制限は？ A3: 必需品（パスポート、ビザ（必要な場合）、航空券、現金、カード類、常備薬など）に加え、渡航先の気候に合わせた衣類、洗面用具、必要であれば変換プラグや変圧器、モバイルバッテリーなどを用意しましょう。航空会社に預ける受託手荷物や機内に持ち込む手荷物には、それぞれサイズ、重量、個数の制限があります。利用する航空会社（エコノミー、ビジネス

などのクラスによっても異なる）の規定を必ず事前に確認してください。液体物や危険物の持ち込みにも制限があります。

Q4: 旅行先の治安や注意すべきことはありますか？ A4: 渡航先の治安状況、感染症情報、注意すべき習慣や法律などは、外務省の海外安全ホームページで確認できます。最新の情報をチェックし、危険な地域には近づかない、「たびレジ」に登録するなど、安全対策を心がけてください。現地の習慣やマナーを尊重することも大切です。

【現地にて】

Q1: 空港からホテルまでの移動はどうすればいいですか？ A1: 主な移動手段としては、公共交通機関（電車、バス、地下鉄など）、タクシー、配車サービス（Uber など）、空港送迎シャトルバス、旅行会社の送迎サービス（ツアーの場合）などがあります。料金、所要時間、利便性などを考慮して、ご自身に合った方法を選びましょう。事前に調べておくと安心です。

Q2: ホテルのチェックイン時間より早く着いてしまった場合、荷物は預かってもらえますか？ A2: 多くのホテルでは、チェックイン時間前でもフロントで荷物を預かってもらえます。ただし、ホテルによっては対応できない場合や有料の場合もありますので、事前に確認するか、到着時にフロントで尋ねてみてください。

Q3: 現地で病気になったり、ケガをしたりした場合はどうすればいいですか？ A3:

まずは安静にし、症状が軽い場合は持参した常備薬で様子を見ます。症状が重い場合や改善しない場合は、現地の医療機関を受診する必要があります。海外旅行保険に加入している場合は、保険会社のサポートデスクに連絡し、提携している病院の紹介やキャッシュレス・メディカルサービス（自己負担なく治療を受けられるサービス）の手配などを依頼してください。ツアー参加中の場合は、添乗員や現地係員にも相談しましょう。

Q4: パスポートや財布を紛失（盗難）した場合はどうすればいいですか？ A4: まず、

最寄りの警察署で紛失・盗難証明書を発行してもらいます。パスポートを紛失した場合は、その後、現地の日本大使館または総領事館に行き、パスポートの再発行または「帰国のための渡航書」の発行手続きを行ってください。クレジットカードやキャッシュカードを紛失した場合は、すぐにカード会社に連絡して利用停止の手続きを行ってください。

【その他】

Q1: 旅行中に忘れ物をしてしまったのですが、どうすれば見つかりますか？ A1: 忘れ

物をした場所（航空機内、ホテル、交通機関など）によって連絡先が異なります。航空機内であれば航空会社、ホテルであれば直接ホテルへ、交通機関であればその運営

会社へ問い合わせてください。旅行会社を通じて手配した場合は、旅行会社に相談してみるのも良いでしょう。発見されても、日本への郵送などは有料かつご自身での手配が必要になることが多いです。

Q2: 旅行会社のツアーが催行中止になることはありますか？ その場合どうなります

か？ A2: 最少催行人員に満たない場合や、天災地変、戦乱、官公署の命令、感染症の

流行など、やむを得ない事由によりツアーが中止になることがあります。中止が決定

した場合、旅行会社から連絡があり、通常は旅行代金が全額返金されるか、他のツア

ーへの振り替えを提案されます。詳細は旅行条件書をご確認ください。